

## オペレッタブル歌劇「神の湖」クイズの正解

1. ラグレの守神は熊。チサニはフクロウ。ではヌピアとアペとチルタは？

第1幕で蘇生したラグレとチサニの結婚を祝して、みんな各々の守り神の喜びのポーズをとりました。その恰好を見ると、ヌピアはオオカミ、アペはサル、チルタはツルでした。ピリの守り神もフクロウです。

2. 巫女のアペとチルタの踊りには結界ができる？

第2幕ではヌピアの無事を祈って巫女のアペとチルタは火を焚いて祈禱していました。絶対に邪気を入れないために「結界」を作っていたので、2人に助けを求めたヌピアは結界を破って戻ってきたのです。

3. 鮭商人姉妹の呉は実は男だった？

原作では、呉は男の子として生まれました。野盗の襲撃で一家を惨殺されながらも生き残った兼は呉を身を売ってカネを稼ぐ女の子として育てたのです。しかし、スリを働き、ヤクザに右手首を切り落とされ、姉の兼の悪事に身を染めながら毒殺の実行犯になってしまったのです。

4. 第4幕 なぜ鬼塚重四郎はラグレの剣で自刃したのか？

鬼塚重四郎は兼呉姉妹の非道ぶりを国王に直訴しようとして、娘のお夕を殺すと脅されていた正義漢のサムライでした。しかし、レター族の奇襲によりすでにヒグマでも15分で息絶えるという猛毒の矢を受けており、敗戦の責任をとって自刃すれば面目は立つはずですが、あの場面では兼呉姉妹が実は毒水を飲まされていたとは知らず、お夕を守るために、自らの存在を消そうとしたのです。

5. 第5幕 ラグレはなぜお夕に父親殺しの誤解を解かなかったのか？

実は森竜之介と鬼塚は兼呉姉妹の悪行の証拠をつかんで国王へ直訴しようとしてつながっていました。しかし、鬼塚は娘のお夕が恋仲になったラグレを許してはいませんでした。ラグレは毒が回っていながら一騎打ちを求めた鬼塚を殺すつもりは毛頭ありません。不意をつかれて自刃させてしまった後悔の念を抱いていたのです。

6. 第5幕 お夕は隠れキリシタンなら自殺しないのでは？

あの心中の最後の扇の場面をよく見ると、お互いに毒杯を飲ませており、自殺ではなく他殺なのです。「散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花も花なれ 人も人なれ」の辞

世の句を詠んだ細川ガラシャの最期も自殺はキリスト教で禁じられているため、家老の小笠原秀清(少斎)が介錯したそうです。

7. 第5幕 チサニとピリの後追い投身自殺は平家物語のどこに似てる？

ピリにむかってでチサニはレチタティーヴォでこのように歌っています。

「湖の下の美しい都があるそうよ

Esisterà una capitale bellissima sotto il lago

(そこで) 父上が待っておられます

Ci aspetta a li tuo padre

さあ、ピリ、(私たちも)そこへ行きましょう

Dai,Pili, ci andiamo.」

平家物語の平清盛の妻である時子が平家最後の壇ノ浦の合戦で、「浪の下にも都の候ぞ」と言い、孫である安徳天皇を抱き海中で入水自殺をしたシーンに似ていますね。

8. ラグレって英雄？浮気者？

ラグレはレタール族の囚人たちを懸命に介抱するおタを見て神に誓ったシャモン人への復讐の誓いを捨てました。しかし、お互いに惹かれてはいたものの、一線を越えていませんでした。

9. おタは本当にラグレを愛していたの？

おタはラグレを父の憎き仇と試みてみたものの結局憎めませんでした。そこには略奪者側の負い目と博愛の心の狭間で揺れ動く中で、乙女の恋心が芽生えてしまったのでしょうか。

「許せ 神の意志に従ったのだ

Perdona. Il volere di Dio seguì.」

「では、私をその神の元へ連れて行ってください

Da quel Dio conducimi dunque, ti prego.」

と本当の父の仇は異教徒の神だと置き換えてラグレを許したのです。

10. 何故悪代官は登場しないの？

原作では、国王に呼び出され、本国へ帰国の準備をしたとき、妾の兼に商館に誘い出され、すでに呉に毒殺されていました。みんな帰国したものと思い込み、その死は闇に葬られていたのです。お互いの欲深な利権争いで相互不信が生んだ結末でした。

#### 11. 村長ポロパは優柔不断？

平和主義の村長です。ただ酒と珍しいものに目がくらんでしまいます。兼呉の買収攻勢に負けて、欲深な顔を恥じろとラグレに諭されますが、次女のヌピアを討たれ、ラグレまで捕縛されて、失意のどん底に落ちます。しかし、奮起して奇襲をかけてラグレを助け出し、兼呉姉妹を討ち、仇をとるのですから、さすが部族長です。

#### 12. 毒酒や毒矢の毒は何？

「神の湖」では毒がよく出てきます。アイヌの人たちは、トリカブトを使ってその家々ごとに配合が違う独自の毒を受け継いで狩猟を行って来ました。また、北海道に自生する鈴蘭にも毒があります。

#### 13. 秋のシーンが多いのはなぜ？

北海道で秋といえば鮭の産卵シーンがよく出てきますが、鮭商人たちの活躍の季節でレタール族にとって酷い労役に使われた季節でもあるだけでなく、「冬に宿命し、春に誕生し、夏に成長し、秋に還る」という春夏秋冬とは異なる死生観をイメージした原作者の意図があったからです。

#### 14. 森竜之介も隠れキリシタン？

北海道の歴史の中でキリスト教禁教時代の江戸期でも隠れキリシタンが逃げてきたり、ロシアから布教に来たりしていたようです。森竜之介も測量を通じて隠れキリシタンらと接触してその宗教観を研究していましたが、その事実を掴んだ鬼塚には同じ隠れキリシタンの娘がいたのです。そこで信頼関係が生まれたのですが、森竜之介は仏教徒でキリシタンではありません。

#### 15. なぜ湖神に羽根が？

湖の守神は湖底に棲んでいるとは限りません。この物語では半鳥の神は天空から舞い降りて湖の守神になったという設定になっています。上半身が人間の女性で、下半身は鳥の姿とされるギリシャ神話のセイレーンは、後世に人魚となり、マリアセレンの名前の由来でもあります。

「神の湖」にはこの他にもたくさんの謎が秘められています。

次回再演でまた謎解きをしましょう。

ご来場ありがとうございました。